

これからMTシステムを勉強したい、使ってみたいという方向けのソフトで、操作が簡単で基本的な機能だけのソフトです。

## MTシステム入門解析ソフト

EXCEL終了

判別用解析ソフト(MT法)

予測用解析ソフト(T法)

特徴量変換と判別用解析ソフト

分類用解析ソフト(RT法)

KTS&C LATEST EDITION JAN./01/'12 VER.03-001

1. 判別用解析ソフト(MT法)  
逆行列法を使って、マハラノビスの距離を計算するソフトです。
2. 特徴量変換と判別用解析ソフト  
連続データを指定した条件により特徴量に変換し、その特徴量を変数としてマハラノビスの距離を求めるソフトです。
3. 予測用解析ソフト(T法)  
目的特性をT法(片側、両側)で予測するソフトです。
4. 分類用解析ソフト(RT法)  
RT法を使って、対象を分類するソフトです。

価格 21,000円(消費税含む) 7,350円(アカデミック版:消費税を含む)

本格的にMTシステムを勉強したい方、実際にMTシステムを各種用途に導入した方向けのソフトで、特徴は以下の通りです。

- ①逆行列法の多重共線性の問題および $\sigma=0$ の問題に対処したソフトです。
- ②項目選択および項目診断をランダムに割り付けを替えながら最大100回の平均として出力します。
- ③診断法として項目診断の他に貢献度法と異常法を採用しています。

## MTシステム標準総合解析ソフト

EXCEL終了

判別:MT法(一般化逆行列)

判別:特徴量変換とMT法解析

判別:単位空間の妥当性検証

予測:TS法/両側T法

予測:MTG法/片側T法

予測:両側T法/片側T法

分類:RT法(標準SN比のT法)

KTS&C LATEST EDITION JAN./01/'12 VER.03-001

1. 判別:MTG法(一般化逆行列)  
逆行列法の多重共線性の問題(逆行列が計算できない)および $\sigma=0$ の問題に対する対策を行なったソフトです。
2. 特徴量変換と判別用解析ソフト  
連続データを指定した条件により特徴量に変換し、その特徴量を変数としてマハラノビスの距離を求めるソフトです。
3. 単位空間の妥当性検証  
単位空間サンプルおよび未知データについて、単位空間に入れた時のマハラノビスの距離(単位空間内距離)および単位空間に入れない時の距離(単位空間外距離)を求めます。
4. 予測:TS法/両側T法  
目的特性(両側)をTS法および両側T法で予測するソフトです。
5. 予測:MTG法/片側T法  
目的特性(片側)をMTG法(MTA法の多重共線性の問題に対策したもの)および片側T法で予測するソフトです。
6. 予測:両側T法/片側T法  
目的特性を両側T法および片側T法で予測するソフトです。
7. 分類:RT法(標準SN比のT法)  
RT法を使って、対象を分類するソフトです。

価格 63,000円(消費税含む) 21,000円(アカデミック版:消費税を含む)

MTシステムを学術的に研究したい方向けのソフトで、特徴は以下の通りです。

- ①判別用のソフトは、逆行列法、シュミット法、余因子法、一般化逆行列法および近似法を選択できます。
- ②予測用は、MTA法(MTG法)、TS法、両側T法、片側T法が使用できます。
- ③単位空間の妥当性(一個外し:単位空間内距離、単位空間外距離)を検証できます。
- ④連続データの特徴量に変換する方式の場合にパラメータ設計で最適条件が決定できます。
- ⑤予測型手法(MTA法、TS法、両側T法、片側T法)のパラメータ設計ができます。

## MTシステム専門総合解析ソフト

EXCEL終了

判別のための総合解析ソフト

特徴量変換とMT法の解析

単位空間の妥当性検証

連続データのパラメータ設計

予測のための総合解析ソフト

予測のためのパラメータ設計

分類のための解析ソフト

KTS&C LATEST EDITION JAN./01/'12 VER.03-001

### 1. 判別のための総合解析ソフト

マハラノビスの距離を求めて、判別するための全ての方法を採用しています。

・逆行列法、シュミット法、余因子法、一般化逆行列法、近似法

### 2. 特徴量変換と判別用解析ソフト

連続データを指定した条件により特徴量に変換し、その特徴量を変数としてマハラノビスの距離を求めるとのソフトです。

### 3. 単位空間の妥当性検証

単位空間サンプルおよび未知データについて、単位空間に入れた時のマハラノビスの距離(単位空間内距離)および単位空間に入れない時の距離(単位空間外距離)を求めます。

### 4. 連続データのパラメータ設計

連続データの特徴量に変換する時のパラメータをL18直交表に割り付けて、最適条件を決定するためのプログラムです。

### 5. 予測のための総合解析ソフト

MTA法、TS法、両側T法および片側T法を使って、目的特性を予測するプログラムです。

### 6. 予測のためのパラメータ設計

MTA法、TS法、両側T法および片側T法のパラメータをL18の直交表に割り付けて、最適条件を解析するプログラムです。

### 7. 分類:RT法(標準SN比のT法)

RT法を使って、対象を分類するソフトです。

価格 210,000円(消費税含む) 73,500円(アカデミック版:消費税を含む)

連続波形(ロッキングデータ)を各種特徴量に変換し、MT法を使って判別・診断するとき場合にMT法の仕様を検討するためのプログラムです。

## MT法仕様検討用解析ソフト

EXCEL終了

自動解析起動

正常データの編集

未知データの編集

MT法総合解析

単位空間の妥当性

KTS&C LATEST EDITION JAN./01/'12 VER.03-001

1. 連続波形として採取した単位空間データ、未知データを指定した(開始位置、終了位置、データ区分数、データ重複数、使用する特徴量の組み合わせ)特徴量に変換します。

2. 前記特徴量に変換したデータを使って、単位空間データおよび未知データのマハラノビス距離を計算します。

3. 逆行列の計算方法を、逆行列法、一般化逆行列法あるいは近似法を選択することができます。

4. 単位空間データおよび未知データについて、単位空間内でのマハラノビス距離(単位空間内距離)と単位空間外での距離(単位空間外距離)の2種類の距離を求めて、単位空間データの妥当性検討や良品/不良品の判定閾値の検討に使用することができます。

価格 31,500円(消費税含む) 10,500円(アカデミック版:消費税を含む)